

## 令和4年度修了式を迎える



### 【修了式 式辞】

ワールドベースボールクラシックで日本チームが世界一になりました。チーム全員で一丸となり、不可能はないことやあきらめない心を私たちに教えてくれました。やはり別格は大谷翔平選手ではないでしょうか。大会MVPにも選出されていました。誰からも愛され、礼儀正しく、人間性も素晴らしいと言われていました。まさに世界のスーパースターではないでしょうか。

そんな彼が高校1年生のときにつくった目標達成シートはあまりにも有名です。すごいのは、8つの目標のなかに「人間性」と「運」が入っていることです。「人間性」を鍛えるために、「感性」「思いやり」「礼儀」「愛される人間」「計画性」「感謝」「信頼される人間」「継続力」の具体的な目標を掲げ、実践し、努力をしてきました。また「運」を味方にするために、「あいさつ」「ゴミ拾い」「部屋掃除」「道具を大切に」「審判への態度」「プラス思考」「応援される人間になる」「本を読む」などを実践してきたそうです。大谷選手は目標達成シートを作成する際、なるべく具体的に、また少し高い目標を書き込むようにしたと話しています。大きな目標を達成するために必要な要素を細分化し、「叶えたいこと」の道のりを確立したとも言えるでしょう。



さて、今日の修了式は、それぞれの学年の学習課程や教育活動が終わったということを示す式です。みなさん、この一年はどうでしたか。学年の初めに、いろんな目標を立てましたね。その目標はどうでしたか。達成できたでしょうか？今年度、一年間に及ぶドラマをみなさんはこの玉幡中学校で体験しました。日々の授業や部活動、数々の学校行事や学年行事、様々な場面でみなさんの輝く瞳や集中する姿を見ることができ、私自身心が洗われる思いがしました。一年間におよぶドラマは決してシナリオ通りに展開されることばかりではなかったと思います。シナリオが崩れ、思い通りにいかないことに悩み、仲間との衝突もあったことと思います。さらに、新型コロナウイルス感染症による制限のある学校生活等……。それでもみなさんは前進を続けてきました。あきらめずに前進を続ける力がみなさんには育ってきています。

この一年間のドラマを体験したことによりみなさんは、輝きを増し、心は浄化をとげました。この一年で得たことを明日からも生かしてほしい、新しい春からも生かしてほしいと思っています。中学時代は、年齢的にも激動の時だと言われます。文豪のゲーテは、それを「疾風怒濤」という言葉で表現しています。中学生は、無限の可能性を持っているとも言われます。しかし、その言葉はいい可能性だけを意味している訳ではなく、心の持ち方次第では、どうしようもないほど悪くなるかも知れないという冷たい現実をも暗示しています。今の中学校時代をどう生きるかということは今後の人生にも大きな影響を与えます。だから、みなさんにとって、今このときは一生を左右しかねない大切な岐路であると言えます。そんなときだからこそ間もなく進級を迎えるみなさんには「来年の自分像」を見据えた生活を考えてほしいと思います。一年後の自分の目標とする姿に向かって一人一人が努力を続けてほしいと思います。

それからもうひとつ……。中学生という大切な時期だからこそ仲間の幸せのために自分の真心を発揮することの大切さに気付きたい。卒業した3年生のために、2年生が一生懸命に卒業式の会場準備をする姿を見ることができました。式でも3年生の姿を必死に目に焼き付けようとしていました。代表のなおさんの送辞も素晴らしかった。また、3年生が卒業



式で胸につけたコサージュづくりにはひたむきに取り組む1、2年生の姿を見ることができました。また中心となって率先して頑張った生徒会本部役員や学年生徒会のみなさんの姿がありました。私は、みなさんのひたむきな姿を見ることができ、心が温かくなり、みなさんの大きな成長を感じました。

人の幸せは、他人とのつながりによって幾倍にもふくれあがります。自分自身を変えて、一隅の光となって、周りの人たちに幸せの輪を広げられるとしたらどんなに幸せなことでしょう。みなさんには、これからも心に留め、生活して行ってほしいと思います。明日から12日間という春休みに入りますが、新しい学年を迎える準備期間・助走期間として大切な期間となります。全員がすばらしい始業式を迎えるために、元気一杯に、新年度、新学期が迎えられるように、規則正しい生活をして、感染対策にも気をつけながら、全力で今すべきことに集中してほしいと思います。全員が志や目標に向かって好発進できる4月にしましょう！

### 【第39回卒業証書授与式 送辞】

肌を震わす冷たい風もいつしか和らぎ、うららかな春の香りが感じられる季節となりました。3年間の中学校生活を終え、玉幡中学校を旅立たれる卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。在校生一同、心よりお祝い申し上げます。

これまで先輩方は、様々な場面で私たちを引っ張り、寄り添い、支えてくださいました。そんな先輩方との思い出はたくさんあり、学ぶことが多くありました。中でも一番の思い出は、生徒会最大行事である「緑水祭」です。今年度も新型コロナウイルスの影響を受ける中ではありましたが、「飛翔～羽ばたけ338の翼で～」のテーマのもと、先輩方は全校の先頭に立ち、私たちをまとめ、多くの感動を残して緑水祭を大成功に導いてくださいました。文化の部では、先輩方の合唱に強く胸を打たれました。大きな声で堂々と歌い、きれいなハーモニーが体育館に響き渡っていたことが印象に残っています。体育の部では、先輩方が一つになって盛り上がり、はじける笑顔や涙する姿を目の当たりにして、最後まで諦めずに取り組むことの大切さを学びました。そんな先輩方の姿を見て、私たちも来年度、見ている人や全校生徒が感動できる緑水祭を創っていきたく強く思いました。

そして秋も一段と深まり、陽だまりの恋しい季節となった頃、先輩方にとっては最初で最後の合唱祭が行われました。先輩方の歌声にはまとまりと迫力があり、圧倒されました。聞く人の心を震わせ、勇気を与える先輩方の合唱は、全員で団結し、一つの合唱を創り上げることのすばらしさや、合唱が与える力を教えてくれました。先輩方を一番身近に感じ、先輩の存在の大きさが感じられた部活動では、チームワークの大切さを学ぶことができました。ミスしたときには優しく声をかけてフォローしてくださったり、間違えた行動には厳しく指導してくださったりと、先輩方の存在はとてもしつこく頼もしいものでした。

今、このようなすばらしい先輩方と共に過ごせたことを、誇りに思い、深く感謝しています。先輩方と過ごした日々はあっという間に過ぎ去り、明日からはもうこの校舎に先輩方の声が響くことはありません。先輩方の後ろ姿を見て、先輩方に導かれてここまで来た私たちにとって、未だに信じがたく、寂しさがこみ上げてきます。しかし、先輩方が残してくれた良き伝統を守り、先輩方が誇れる学校を、今度は私たちの手で築き上げていくことをここで約束します。

たくさんの思い出が詰まった玉幡中学校を巣立つ皆さんの胸の内には、仲間と過ごしたこの学び舎に別れを告げなければならぬ寂しさと、これから始まる新しい生活への期待と不安が入り交じっていることと思います。しかしこの玉幡中学校で培った精神力、団結力、行動力は、これからの人生の中で必ず生きていくと思います。自信をもって、力強く一步を踏み出してください。大きな壁にぶつかり、挫けそうな時は、玉幡中学校で過ごした日々を思い出してください。そして前に進んで行ってください。先輩方の未来が希望に溢れ、明るく輝かしいものとなりますよう、心よりお祈りして、私たち在校生からの、お別れの言葉とさせていただきます。

令和5年 3月9日 在校生代表 田中 なお

### 保護者のみなさまへ

令和4年度の教育活動の節目となる日を迎えました。今年度も新型コロナウイルス感染症に翻弄された一年間でした。新型コロナウイルス感染症感染拡大対策に、保護者の皆様方のご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。新年度も油断せず危機管理を徹底し、全力で始動し、新年度を充実させていく所存です。生徒たちは一年間の学びと成長の節目を迎え、次の段階に進もうとしています。引き続き、ご支援の程よろしくお願い致します。